

# 県立新発田病院跡地活用に係る 中間報告書

平成20年8月11日  
県立新発田病院跡地活用市民検討委員会

## 目 次

はじめに	… 1
1 市民検討委員会の目的及び事務	… 2
(1) 目的	
(2) 事務	
2 検討結果	… 2
(1) 基本テーマにおける課題等(メリット・デメリット)の検証	… 2
基本テーマの課題等検証シート(総まとめ)	… 3
(2) 各基本テーマの組み合わせ案	… 4
組み合わせ案を示す前に… 【凡例】	… 5
組み合わせ案 1	… 6
組み合わせ案 2	… 7
組み合わせ案 3	… 8
組み合わせ案 4	… 9
組み合わせ案 5	… 10
組み合わせ案 6	… 11
組み合わせ案 7	… 12
3 市民検討委員会委員名簿	… 13
4 市民検討委員会開催状況及び検討手順	… 14

## はじめに

県立新発田病院跡地活用市民検討委員会は、市長により任命された学識経験者1人、公募市民5人、市長指名の市民9人の計15人で構成され、市長より付託された県立新発田病院跡地の活用について、平成20年5月22日から8月7日まで延べ8回にわたり検討を進めてきた。

本委員会は、一般的な審議会の通例である市が提示した原案を修正・承認するという形態を採っていない。すなわち、新発田市市内での当該用地活用に関する検討結果をまとめた『県立新発田病院跡地利用計画庁内検討会報告書』で提示された枠組みである「緑化」、「防災」、「行政サービス」、「歴史・文化」、「生涯学習」、「賑わい創出」というテーマを土台としつつも、「県立新発田病院跡地活用にかかる意見公募手続」(パブリック・コメント、平成20年5月7日締切)当該用地に関する「市長への手紙」等を踏まえて、委員会独自に意見を作成している。

検討過程を今少し具体的に述べれば下記のとおりである。

- (1) 委員を3つに分けて行われたグループ討議を通じて、市民一般からの意見(パブリックコメントと市長への手紙)を参照して、上記6つのテーマについて「新発田市民」および「新発田市民以外」にとってのメリット、デメリットを整理しつつ、委員相互の共通認識(「基本テーマの課題等検討シート(総まとめ)」参照)を持った。
- (2) グループごとに、メリット・デメリットに基づいて当該用地活用の際に合理的と思われる緑化(基礎テーマ)をベースとした5つの付帯テーマの組み合わせ案(各「基本テーマの組み合わせ検討シート」参照)を複数作成した後、委員会全体でそれぞれの組み合わせ案について、メリット・デメリットと照合・検討し、齟齬(そご)を解消した。
- (3) 最後に組み合わせに基づいた整備イメージ(「整備イメージ検討シート」参照)を各グループで作成して、さらに委員会全体として検討後承認した。

検討の一応の帰結として7つの案が作成されたが、各案はそれぞれ立場の異なる委員の思いが重ね合わされていることから、必ずしも“7つ”が結果のすべてではなく、それに至る検討過程が本報告書の要諦である。ただし、この検討において、各委員が共通に留意したのは、当該地域は市民が主体的に利用できる目的とすること、ハードウェアの整備のみならず、その後の運営メカニズムとしてのソフトウェアの整備までも展望した活用方法であること、という2点であった。

したがって、本報告書の内容は以下に記載のとおりであるが、市は、この点を十分に斟酌して、単に7つの組み合わせ案から選択するのではなく、各案を十分吟味して、市としての整備構想案を作成していただきたい。

平成20年8月11日

県立新発田病院跡地活用市民検討委員会

会長 馬場 健(新潟大学大学院実務法学研究科准教授)

## 1 市民検討委員会の目的及び事務

### (1) 目的

市民検討委員会は、平成18年11月に新発田駅前に移転改築した県立新発田病院の跡地活用について、市が作成する整備構想案の参考とするため、「市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例」の趣旨に則り、パブリックコメントによる市民意見も参考にしながら、6つの基本テーマ(緑化、防災、行政サービス、歴史・文化、生涯学習、賑わい創出)の課題等を検証し活用構想を練ることを目的としている。

### (2) 事務

市の県立新発田病院跡地活用計画庁内検討会の検討結果報告を受け、市民が主体的に活用できるように、次の事項について協議、検討を行う。

「緑化」、「防災」、「行政サービス」、「歴史・文化」、「生涯学習」、「賑わい創出」の各テーマについての課題

「緑化」を基礎テーマとして、その他「防災」、「行政サービス」、「歴史・文化」、「生涯学習」、「賑わい創出」の5つのテーマの全部もしくはいくつかとの組み合わせによる活用の方針及び整備構想の案

## 2 検討結果

### (1) 各基本テーマにおける課題等(メリット・デメリット)の検証

市の県立新発田病院跡地活用計画庁内検討会の検討結果報告で示した6つの基本テーマ(「緑化」、「防災」、「行政サービス」、「歴史・文化」、「生涯学習」、「賑わい創出」)について、それぞれの基本テーマに基づく活用方針における課題等を市民の目線で検証する作業を行った。

その結果、次頁(「基本テーマの課題等検証シート(総まとめ)」参照)で示すいくつかの課題等をまとめた。

# 基本テーマの課題等検証シート(総まとめ)

黒字:3グループ共通意見 赤字:Aグループ オレンジ字:Bグループ 緑字:Cグループ

運営するソフトが明確でない 全体についてあてはまる

基本テーマ	メリット		デメリット	
	市民にとってのメリット	市民以外にも及ぶメリット	市民にとってのデメリット	市民以外にも及ぶデメリット
基礎テーマ 「緑化」	<ul style="list-style-type: none"> <li>憩いの場の提供</li> <li>憩いの場</li> <li>健康福祉の増進</li> <li>健康福祉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客にとっても心安らく憩いの場となる</li> <li>地球環境の保全</li> <li>憩いの場</li> <li>環境保全</li> <li>市が一体として取り組む 統一感が生まれる</li> <li>「市の花(あやめ、花菖蒲)」を通じて、他の都市(加賀市等)と交流 学校の課外教育の一環としてあやめを植える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯性・安全性の問題</li> <li>防犯・安全化</li> <li>維持管理及びコスト</li> <li>冬場の利用が減る可能性</li> </ul>	なし
付帯テーマ 「防災」	<ul style="list-style-type: none"> <li>(中心部の)避難場所</li> <li>災害時に役立つ</li> <li>防災教育</li> <li>お堀があると安心</li> <li>自衛隊との連携</li> <li>中心街、自衛隊により市民の不安解消(安心・安全)</li> </ul>	災害時における近隣市町村の避難場所となる	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災だけではもったいない(通常時の有効性)</li> <li>防災だけではもったいない</li> <li>他の場所がある</li> <li>場所としての適切性</li> <li>(箱物とすると)通常利用困難</li> <li>「緑化」と「防災」だけでは永遠にランニングコストがかかるだけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災施設を造ったら城下町というイメージにそぐわない施設となる可能性がある。</li> <li>連携システムが不十分だと意味がない</li> <li>他市との連携が不可欠 無い場合には機能が半減する可能性がある</li> </ul>
付帯テーマ 「行政サービス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約できて便利</li> <li>書類提出手続が必要なものを一箇所に集約した方が便利</li> <li>バス利用</li> <li>市民の利便性の向上(現庁舎の問題解消)</li> <li>例:つくり、駐車場、老朽化にこだわらない、将来をみこす</li> <li>「現庁舎の老朽化問題の解消」という文言を入れるか入れないかの意見が分かれた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民サービスが充実で真似 模範、モデル</li> <li>観光も含めた行政サービスのモデルとして他市住民が来訪する可能性あり</li> <li>観光(城の前だから)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多額の経費がかかる</li> <li>景観にそぐわない</li> </ul>	なし
付帯テーマ 「歴史・文化」	<ul style="list-style-type: none"> <li>新発田城との一体感が、城下町のシンボルとなる</li> <li>次世代への新発田市(文化、歴史)の継承</li> <li>教育</li> <li>歴史を知る場</li> <li>新発田の歴史を知る場が増える</li> <li>郷土愛が生まれる</li> </ul>	観光振興に寄与(観光ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設コスト等経済面の問題がある</li> <li>興味のない人には意味無し</li> <li>コストのみならず、存在意義や利用・活用の仕方への理解を得られなければ意味無し</li> <li>コストに対する市民の満足・理解を得られない可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴重な財産があるにも関わらず知らせてもらえない</li> </ul> なし
付帯テーマ 「生涯学習」	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に潤いを与え、より生き甲斐を持って毎日を送れる</li> <li>市民文化の向上</li> <li>学生の様々な実践の場</li> <li>学習設備の充実</li> <li>課外授業活用</li> <li>市民の向上心、生き甲斐</li> <li>学び・交流の場の創出 高齢者から子への世代間継承</li> <li>学習の場の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験学習</li> <li>催し物</li> <li>観光</li> <li>生涯学習を通じた地域振興策及び交流を行う事が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(用途によっては)施設の重複が生じる</li> <li>コストがかかる</li> <li>施設維持費増大</li> <li>運営するソフトが明確でない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用を遠慮する</li> <li>新発田市まで行かなくても良い</li> <li>情報が伝わりにくい</li> </ul> なし
付帯テーマ 「賑わい創出」	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興に寄与</li> <li>中心市街地・商店街の活性化</li> <li>人との交流(精神面)</li> <li>イベント</li> <li>イベント(飲食・物産)</li> <li>イベント開催</li> <li>雇用創出</li> <li>雇用創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興</li> <li>観光</li> <li>イベントをする事により市外からの参加も可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣住民等への迷惑(交通問題、騒音、汚染)</li> <li>駐車場問題が生じる</li> <li>駐車場にしても利用率は低い</li> <li>主体について検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内やサインの整備必要</li> <li>案内が不便(分かりづらい)</li> <li>案内の問題には配慮が必要</li> <li>賑わうこと自体で市民以外にデメリットはない</li> </ul>

( 2 ) 各基本テーマの組み合わせ案

前述の検証結果である基本テーマにおける課題等を念頭に置きながら、3つのグループ（A、B、C）に分かれワークショップ方式で検討した結果、次の7通りの組み合わせ案が提案された。

（基本テーマの組み合わせ及び整備イメージは別紙のとおり）

《各テーマの組み合わせ案》

	緑化(基礎 テーマ)	防災	行政 サービス	歴史・文化	生涯学習	販わい 創出
案1						
案2					歴史・文化に 含まれる	
案3						
案4						
案5						
案6						
案7						

：主たるテーマのうち特に強調するテーマ

：主たるテーマ

：サブ的テーマ

【凡例】

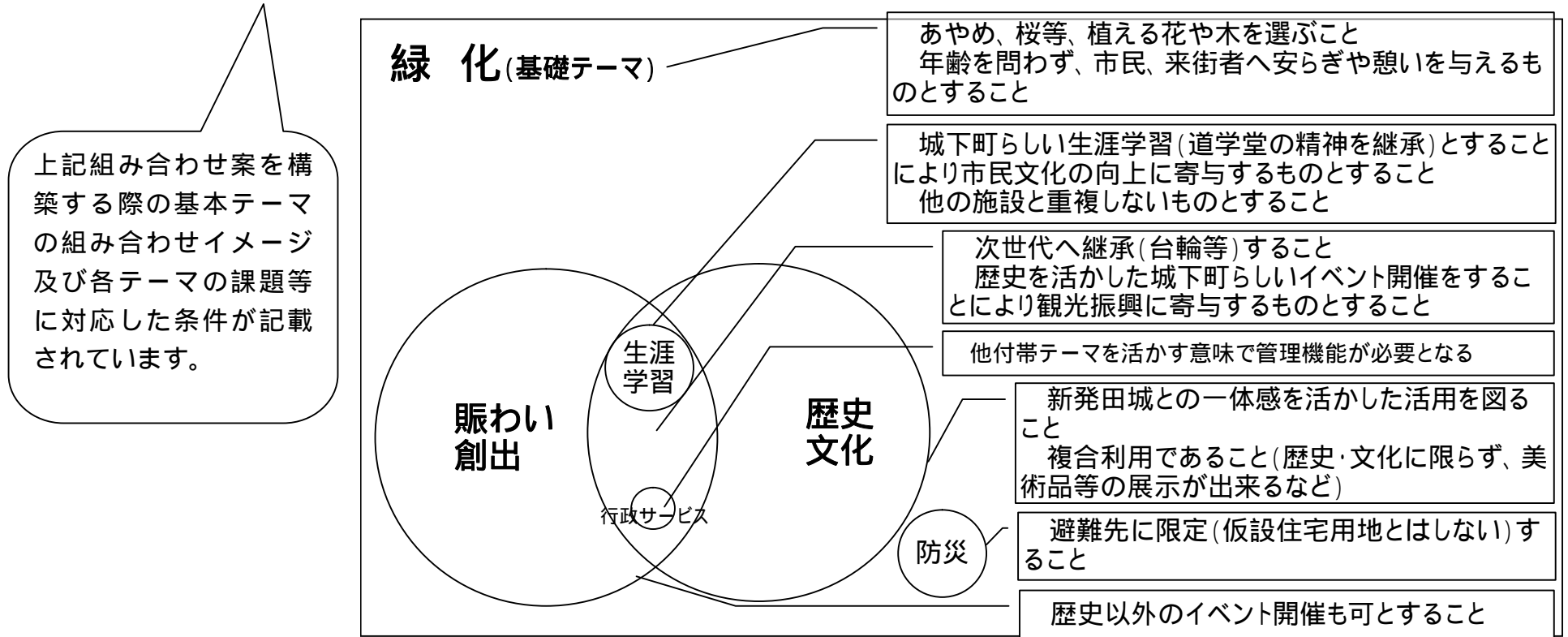
組み合わせ案 1

【テーマ】×××・・・

各組み合わせ案の目的ともいべき活用テーマが記載されています。

各組み合わせ案が求める主要な機能、整備イメージなどが記載されています。

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

上記基本テーマの組み合わせイメージ及び各テーマの課題等に対応した条件をクリアするために必要な機能、整備イメージが記載されています。

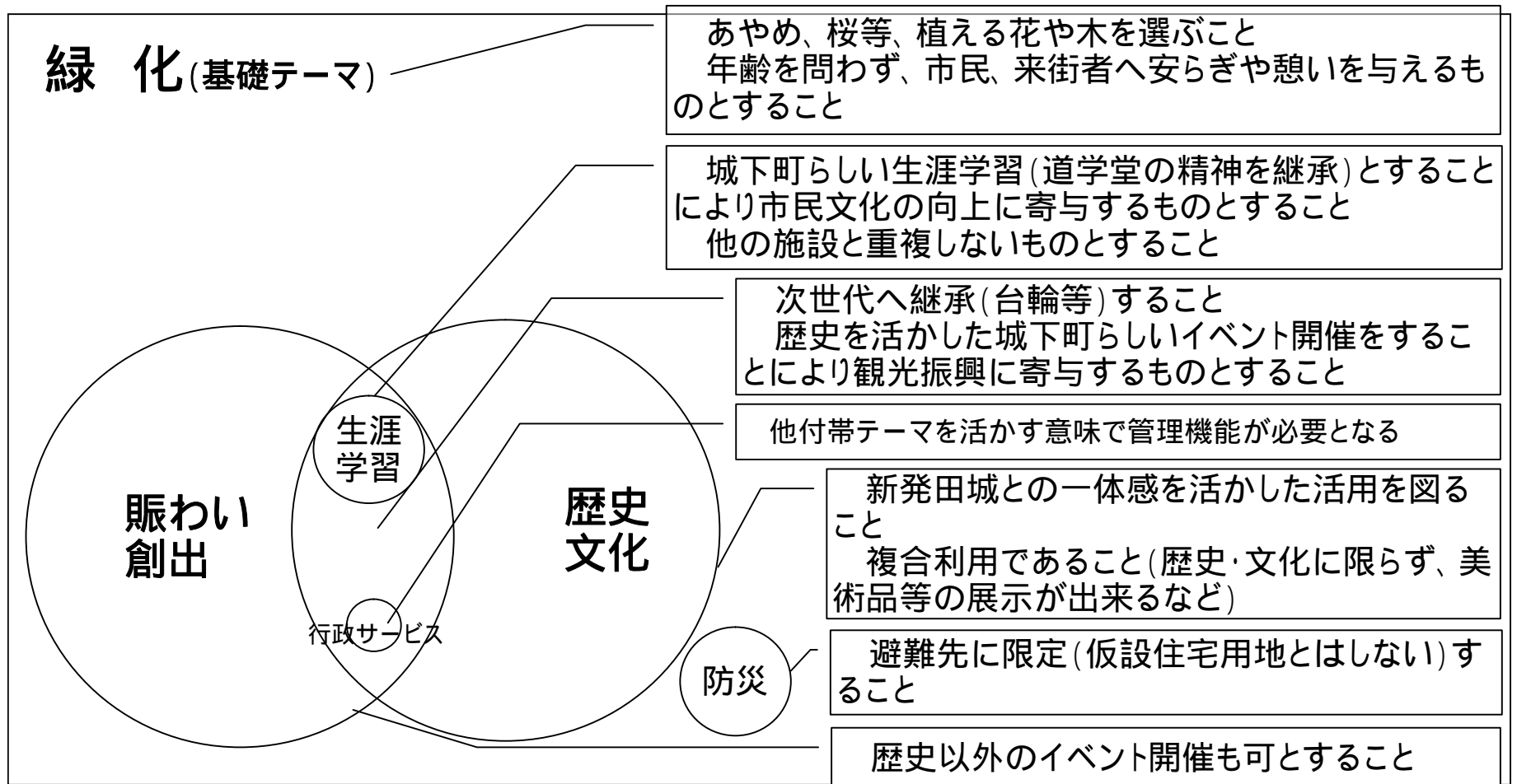
基本テーマの組み合わせ案1		テーマ:	
基礎テーマ	緑化 (必須)	城下町らしさを最大限に表現し、市民にとって安らぎと誇りの場となるような利用価値の高い複合施設。	
付帯テーマ	防災 (選択)		
付帯テーマ	行政サービス (選択)		
付帯テーマ	歴史・文化 (選択)		
付帯テーマ	生涯学習 (選択)		
付帯テーマ	賑わい創出 (選択)		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		条件(目的) 機能 施設	
【基礎テーマ「緑化」について】		左記条件を満たすために必要な機能	
・あやめ、桜等植える花や木を選ぶこと ・年齢を問わず、市民、来街者へ安らぎや憩いを与えるものとする		・見通しの良い植林 ・夜間の安全、防犯のための照明等	「森」といふより「植栽」というイメージの見通しの良い緑地形成 適切な配置による夜間照明 周囲の土屋を復元(復興)し、法面に花菖蒲、桜等を植える
【付帯テーマ「防災」について】			
・避難先に限定(仮設住宅用地とはしない)すること			
【付帯テーマ「行政サービス」について】		1他付帯テーマを活かす意味で管理機能	「特記事項」 武家屋敷の早期復原が望まれるが、場所については当該地周辺も含め、文化財調査審議会等の専門機関の意見を聴取し決定すること
【付帯テーマ「歴史・文化」について】		・本丸及び当該地の歴史的資産価値を高めるために、可能な限り史実に忠実な復元もしくは復興 施設は各付帯テーマにおいて、それぞれ複合利用をできること	大手中の門復元 家老屋敷風複合利用施設建設 複合利用例: 飲食・物産販売 歴史・美術等の他に、大倉集古館など他施設からお借りした価値あるものの展示 郷土安兵衛記念コナノの設置 「道学堂(新発田藩の藩校)の再興 IT化対応の次・中・小会議室の設置 学生(試験時勉強)のためのデスクを確保
【付帯テーマ「生涯学習」について】		・新発田藩は好学な藩として有名なので、積み重ねてきた文教遺産を生生涯学習に活用する	既存施設はコア・ミュ・ジウム(核施設)当該地の施設をサテライトミュ・ジウム(衛星施設)と位置付ける
【付帯テーマ「賑わい創出」について】		・当該地における新発田藩の記録を検証したうえで活用する各種イベント及びその開催会場 地域交流センターでイベントを行う際、利用できる駐車スペース 文化会館行事の際の駐車スペース	駐車スペース(多目的利用を可能とする簡便なもの) 活用例: 新発田藩参勤交代の大名行列を再現し、表門出發-大手中の門から市街地へ練り出す。藩主が二の丸で台輪を御覧になった記録があるので、しばた祭りは別の時期に、当該地-城址公園の間で職人町獅子舞と台輪の巡行を催す。各種コンサ-ト開催(城下町の雰囲気に沿うもの)

組み合わせ案 1

【テーマ】城下町らしさを最大限に表現し、市民にとって安らぎと誇りの場となるような利用価値の高い複合施設

- ・ 城下町らしさを表現するため、歴史的資産、美術品等の展示、飲食・物販、道学堂の精神を継承できる生涯学習の場を含めた複合施設の建設
- ・ 本丸及び当該地の歴史的資産価値を高めるために、可能な限り史実に忠実な復元もしくは復興
- ・ 防災機能は避難場所に限定し、当該目的の建物は建設しない

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

基本テーマの組み合わせ案1		テーマ: 城下町らしさを最大限に表現し、市民にとって安らぎと誇りの場となるような利用価値の高い複合施設。	
活用する	基礎テーマ 緑化 (必須) 付帯テーマ 防災 (選択) 付帯テーマ 行政サービス (選択) 付帯テーマ 歴史・文化 (選択) 付帯テーマ 生涯学習 (選択) 付帯テーマ 販わい創出 (選択)	1	
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的)		条件(目的)	機能 施設
【基礎テーマ「緑化」について】 ・ あやめ、桜等植える花や木を選ぶこと ・ 年齢を問わず、市民、来街者へ安らぎや憩いを与えるものとする		・ 見通しの良い植林 ・ 夜間の安全、防犯のための照明等	「森」というより「植栽」というイメージの見通しの良い緑地形成 適切な配置による夜間照明 周囲の土居を復元(復興)し、法面に花菖蒲、桜等を植える
【付帯テーマ「防災」について】 ・ 避難先に限定(仮設住宅用地とはしない)すること			
【付帯テーマ「行政サービス」について】		1 他付帯テーマを活かす意味で管理機能	「特記事項」 武家屋敷の早期復元が望まれるが、場所については当該地周辺も含め、文化財調査審議会等の専門機関の意見を聴取し決定すること
【付帯テーマ「歴史・文化」について】 ・ 新発田城(本丸)との一体的な活用を図ること ・ 次世代へ継承(台輪等)すること 複合利用であること(歴史・文化に限らず、美術品等などの展示が出来るなど)		・ 本丸及び当該地の歴史的資産価値を高めるために、可能な限り史実に忠実な復元もしくは復興 施設は各付帯テーマにおいて、それぞれ複合利用ができること	大手中の門復元 家老屋敷風複合施設建設 複合利用例: 飲食・物産販売 歴史・美術等の他に、大倉集古館など他施設からお借りした価値あるものの展示 堀部安兵衛記念コナラの設置 「道学堂」(新発田藩の藩校)の再興 IT化対応の大・中・小会議室の設置 学生(試験時勉強)のためのデスクを確保
【付帯テーマ「生涯学習」について】 ・ 城下町らしい生涯学習(道学堂の精神を継承)とすることにより市民文化の向上に寄与するものとする ・ 他の施設と重複しないものとする		・ 新発田藩は好学な藩として有名なので、積み重ねてきた文教遺産を生生涯学習に活用する	既存施設はコア・ミュジウム(核施設)当該地の施設をサテライト・ミュジウム(衛星施設)と位置付ける
【付帯テーマ「販わい創出」について】 ・ 歴史を活かした城下町らしいイベント開催をすることにより観光振興に寄与するものとする (中心市街地の活性化・商店街の活性化を図る) ・ 歴史以外のイベント開催も可とすること		・ 当該地における新発田藩の記録を検証したうえで活用する各種イベント及びその開催会場 ・ 地域交流センター・でイベントを行う際、利用できる駐車スペース ・ 文化会館行事の際の駐車スペース	駐車スペース(多目的利用を可能とする簡便なもの) 活用例: 新発田藩参勤交代の大行列を再現し、表門出発-大手中の門から市街地へ繰り出す、藩主が二の丸で台輪を御覧になった記録があるので、しばた祭りとは別の時期に、当該地-城址公園の間で職人町獅子舞と台輪の巡行を催す。各種コンサート開催(城下町の雰囲気に沿うもの)

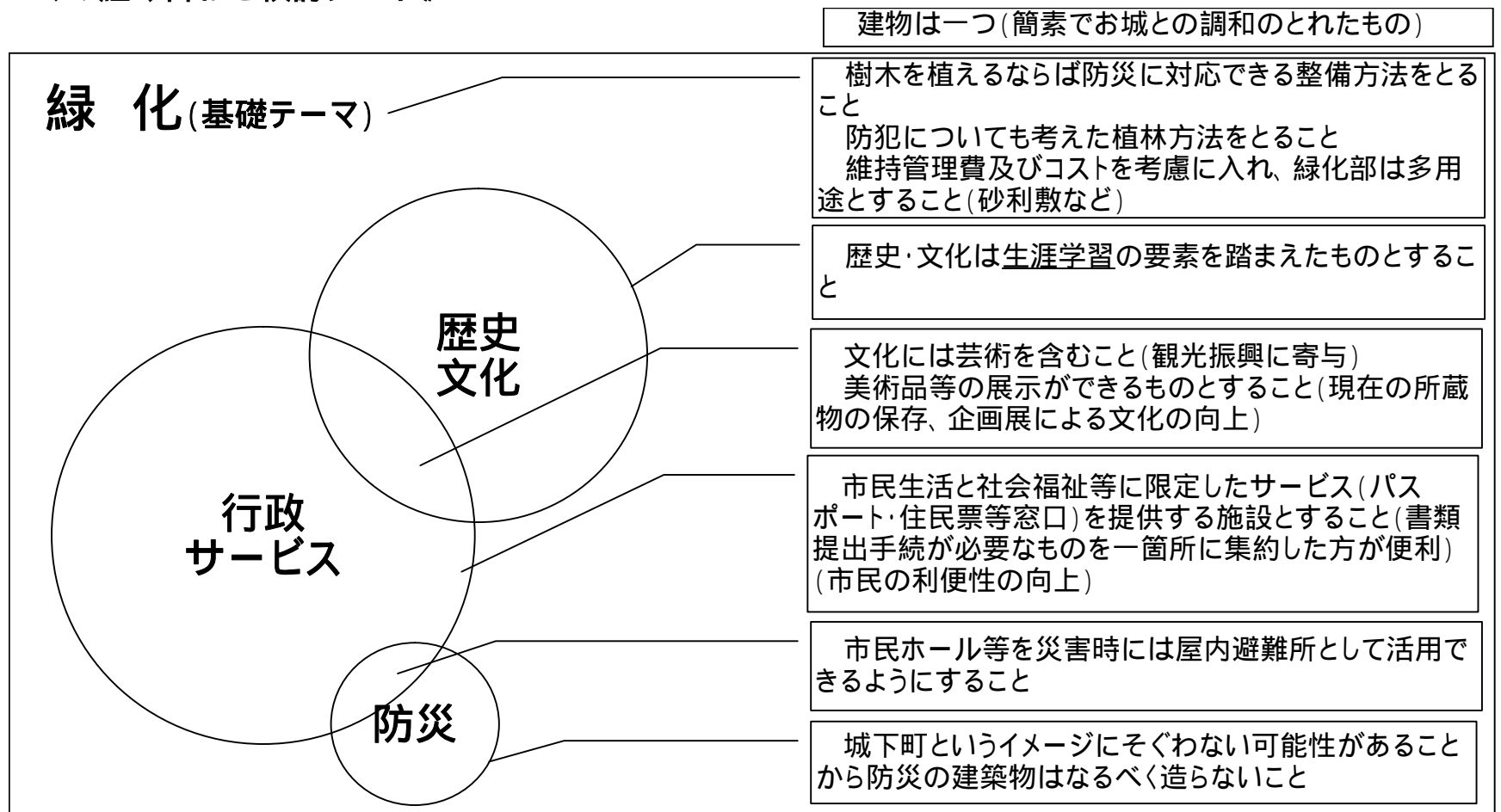


組み合わせ案 2

【テーマ】市民が行きたい、居たくなる、そして安心・安全を与える空間の創造

- ・ 市民生活と社会福祉等の窓口サービスを集約・提供すると同時に、市民が文化・芸術に親しむことのできるスペースを併設した施設の新設
- ・ 災害時に、当該空間は屋内避難所として活用可能とする

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

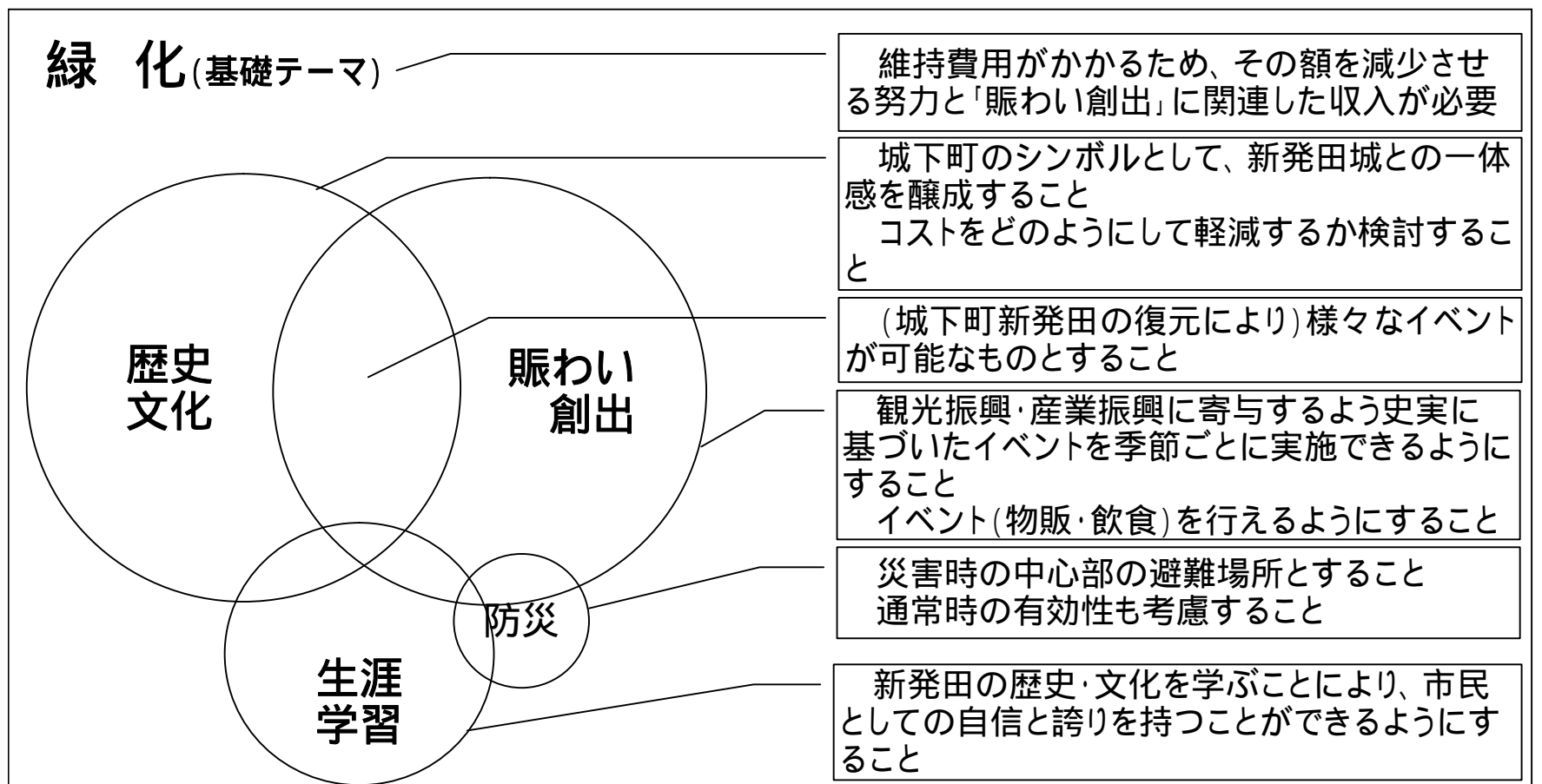
基本テーマの組み合わせ案2		テーマ: 市民が行きたい、居たくなる、そして安心・安全を与える空間の創造	
活用する	基本テーマ	条件(目的)	機能 施設
	基礎テーマ 緑化 (必須)		
	付帯テーマ 防災 (選択)		
	付帯テーマ 行政サービス (選択)		
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)		
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)		
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		左記条件を満たすために必要な機能	
【基礎テーマ「緑化」について】 ・ 防犯についても考えた植林方法をとること (防犯性・安全性の問題の解決) ・ 樹木を植えるならば防災に対応できる整備方法をとること ・ 維持管理費及びコストを考慮に入れ、緑化部は多用途とすること(砂利敷など)		・ 夜間の安全、防犯のための照明等 ・ 見通しの良い植林	適切な配置による夜間照明 「森」というイメージよりは「植栽」という見通しの良い緑
【付帯テーマ「防災」について】 ・ 災害発生時中心市街地の住民の避難場所(目印) ・ 災害発生時の防災拠点 ・ なお、城下町というイメージにそぐわない可能性があることから防災の建築物はなるべく造らないこと		・ 災害時の情報受信機能(安否、インフラ復旧、生活関連) ・ 災害対策本部機能(自衛隊と連携)に転用する(ロビー等)ことができるようにすること ・ 自家発電、浄化槽、防火水槽機能(盛復元等)	防火水槽の役割を果たすお堀
【付帯テーマ「行政サービス」について】 ・ 市民生活と社会福祉等に限定したサービスを提供する施設とすること (書類提出手続が必要なものを一箇所に集約した方が便利)(市民の利便性の向上) ・ 市民ホール等を災害時には屋内避難場所として活用できるようにすること		・ 窓口業務の集約	通常時は市民が交流できる談話室やゆったり滞在できる広いロビーを有した窓口機能集約施設(災害発生時は防災拠点となる(及び駐車場))
【付帯テーマ「歴史・文化」について】 歴史・文化は生涯学習の要素を踏まえたものとする ・ 美術品等の展示ができるものとする(現在の所蔵物の保存、企画展による文化の向上) (市民文化の向上) ・ 文化には芸術を含むこと(観光振興に寄与)		・ 展示スペース、広いロビー(災害時対策本部を設置できるもの)等	建物一つ(簡素でお城との調和のとれたもの)
【付帯テーマ「生涯学習」について】			
【付帯テーマ「賑わい創出」について】			

組み合わせ案 3

【テーマ】新発田に自信を持ち、新発田の文化・歴史・自然に自信を持ち、新発田に暮らす自分自身に自信を持つために

- ・ 新発田城址であることを前提とした、史実に基づく歴史的建造物（櫓、門、堀、石垣など）の復元
- ・ 歴史資料の収集、保管、展示及び調査研究のための学芸員のいる歴史博物館の建設
- ・ これらを活用しイベントを行うことで賑わい創出を図る

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

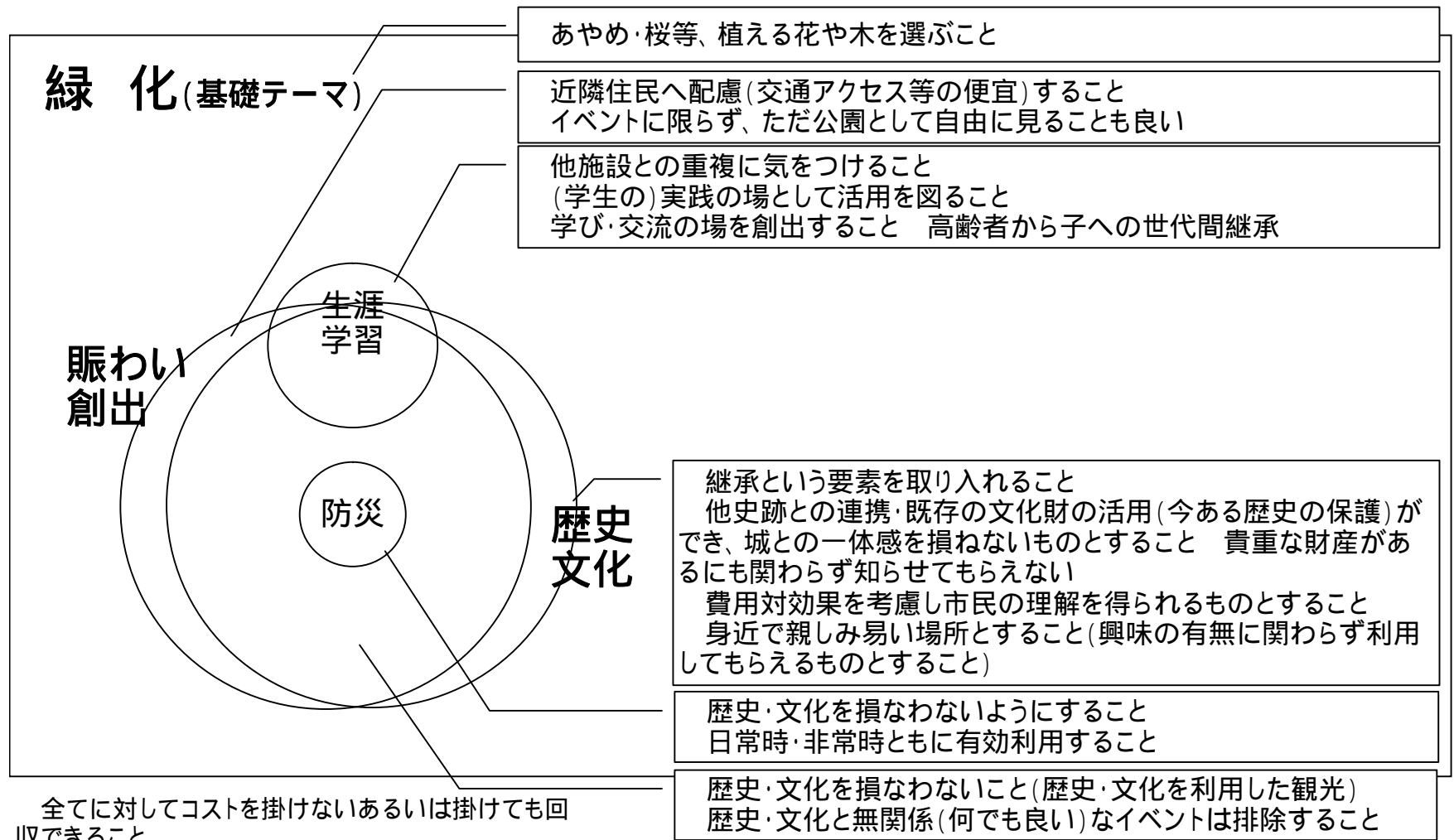
基本テーマの組み合わせ案 3		テーマ: 新発田に自信を持ち、新発田の文化・歴史・自然に自信を持ち、新発田に暮らす自分自身に自信を持つために	
活用する	基本テーマ	条件(目的)	機能 施設
	基礎テーマ 緑化 (必須)		
	付帯テーマ 防災 (選択)		
	付帯テーマ 行政サービス (選択)		
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)		
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)		
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		左記条件を満たすために必要な機能	
【基礎テーマ「緑化」について】 ・ 維持費用がかかるため、その額を減少させる努力と「賑わい創出」に関連した収入があること		・ 桜やあやめなど季節の花を中心に植えること 見物客向けの出店等による使用料で維持費捻出 (植栽するものについても専門家で検討し、気候条件・歴史背景・賑わい創出できるものを選定)	あやめ、桜 (ただし植物専門家・歴史研究者による検討も必要)
【付帯テーマ「防災」について】 ・ 通常時の有効性も考慮すること ・ 災害時の中心部の避難場所とすること		・ 通常時は観光スポット・憩いの場としてのお堀 水害時の調整池の役割 災害時にはお堀の水をくみ上げ仮設トイレの水洗に利用 大型バスや来場者用の駐車場	史実に基づきながら櫓・門・堀・石垣の復元、武家屋敷の復元 学芸員のいる歴史博物館(常設展示と企画展示の併設)及び常設の城下町モール(飲食物販ゾーン) 大型バス・来場者用駐車場
【付帯テーマ「行政サービス」について】			
【付帯テーマ「歴史・文化」について】 ・ 城下町のシンボルとして、新発田城との一体感を醸成すること コストをどのようにして軽減するか検討すること		・ 現在の史跡を中心としながらも、史実に基づいた新たな復元 ・ 公私がもっている歴史的財産を見せる工夫・知らせる工夫・集める工夫 関連制度の精査(歴史まちづくり法、まちづくり交付金、公立の登録博物館対象の補助金等)	
【付帯テーマ「生涯学習」について】 ・ 新発田の歴史・文化を学ぶことにより、市民としての自信と誇りをもつことができるようにすること		・ 派手さや大きさはないものの、多数ある全国に誇れる新発田の歴史や文化を学習または再認識できるような復元と施設 ・ 各種資料の他に体験学習(伝統文化・技術・遊びなどを体験)や視聴覚ホール(文化財等の映像作品や台輪・あやめなど季節の行事の上映・講演会・講座などを開催) ・ 学芸員の存在が必須(資料の収集、保管、展示及び調査研究と企画展示) ( 展覧会中は、企画・運営・接客応対しながら次の展覧会の展開を練り、終わり次第の展示を即座に開始し、その間にも常設の内容を微妙に変える)	
【付帯テーマ「賑わい創出」について】 ・ (城下町新発田の復元により)様々なイベントが可能なものとする ・ 観光振興・産業振興に寄与するよう史実に基づいたイベントを季節ごとに実施できるようにすること ・ イベント(物販・飲食)を行えるようにすること		・ イベント例:市民大茶会・興入れ(結婚式)・参勤交代行列・端午の節句...等 ・ 民間出店によるモール型飲食物販ゾーンの常設 ・ モール型にすることにより、賃貸料から一帯の維持管理費を捻出	

組み合わせ案 4

【テーマ】 菖蒲城と呼ぶにふさわしい城前庭園と歴史・文化・四季・風情を感じ、心潤い安らぎ、自然に足を運びたい  
緑化

- ・ 菖蒲城と呼ばれる歴史を裏切らないよう菖蒲を中心とした四季の花木を植栽し、新発田らしい緑化を推進
- ・ 日常的に活用する歴史景観建造物、樹木、堀、伝統野菜畑、休憩所・トイレなどを災害時に活用可能とする
- ・ 江戸時代の藩政のみならず、明治・大正・昭和の歴史の伝承もふまえ、三階櫓の公開も含めた、城郭全体としての取り組みを図る
- ・ 当該地に対するスムーズなアクセスを可能とする分かりやすい案内板や交通網の整備

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

基本テーマの組み合わせ案4		テーマ: 菖蒲城と呼ぶにふさわしい城前庭園と歴史・文化・四季・風情を感じ、心潤い安らぎ、自然に足を運びたい緑化	
活用する	基本テーマ	条件(目的)	機能施設
基礎テーマ	緑化(必須)		
付帯テーマ	防災(選択)		
付帯テーマ	行政サービス(選択)		
付帯テーマ	歴史・文化(選択)		
付帯テーマ	生涯学習(選択)		
付帯テーマ	販わり創出(選択)		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		左記条件を満たすために必要な機能	
【基礎テーマ「緑化」について】 ・ アヤメ・桜等植える花や木を選ぶこと ・ 病院跡地にある歴史ある樹木を大切にすること ・ 新発田市、豊浦、紫雲寺、加治川地区の花木、友好都市の花木を植え、交流発展の証とする ・ 新発田らしさを念頭に、四季や景観を含め、全てのテーマにおいてバランスの良い緑化とする ・ 新しい発想をとり入れた緑化を推進する(花壇、雪囲い等のコンクール開催等のスペース確保)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べやエピソードのある樹木(陸軍病院時代からある樹木(女帝の木など))を調査し、説明や案内を加えて生かし、菖蒲城と言われてきた歴史を裏切らない、お城(表門)とアヤメを中心とした、調和のとれた歴史を感じ、心安らぐ景観地区(合併前の町、村)や友好都市の花木でつくる四季の彩り 春 = 桜、梅、桜、桜、レンギョウ、レンゲツツジ 夏 = アヤメ(花菖蒲)、紫陽花、ムクゲ 秋 = コスモス、菊 冬 = 松(雪つり、雪囲い) ・ 植物に関心を持てるような発表の場所としてのエリアの確保(市民活用)</li> </ul>	
【付帯テーマ「防災」について】 ・ 歴史・文化を損なわないようにすること ・ 日常時・非常時ともに有効利用すること		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常 防災</li> <li>蔵(歴史景観建造物) = 食料備蓄</li> <li>樹木(緑化) = 防火林、燃料</li> <li>堀、釣堀、ハス = 貯水、洪水防止、食料(魚、レンコン等)</li> <li>伝統野菜畑(新発田野菜) = 食料</li> <li>休憩所、トイレ、景観建造物 = 避難所機能も想定</li> <li>天候に関係なく歩けるスペース = 避難所機能も想定</li> </ul>	
【付帯テーマ「行政サービス」について】			
【付帯テーマ「歴史・文化」について】 ・ 継承という要素を取り入れること ・ 他史跡との連携・既存の文化財の活用(今ある歴史の保護)ができ、城との一体感を損ねないものとする ・ 費用対効果を考慮し市民の理解を得られるものとする ・ 身近で親しみやすい場所とすること(興味の有無に関わらず利用してもらえるものとする)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新発田城(文化財の表門)が中核として生きる景観を前提とした設計 ・ 城址公園と別々にせず、一体化するには、表門前から城址公園に繋がる道路をルート変更し連続性をもたせる機能が必要、寺町他歴史景観の連続性をもつ機能を構築する</li> <li>歴史的価値と将来性を考え、明治、大正、昭和の歴史(軍隊、戦争、自衛隊の歴史)に特化した資料館や自衛隊の広報を行い、将来的には、三階櫓を公開可能にする。当該地は、藩政(医学もふくめ)、人物、伝承文化等に特化し、他史跡とも連携を図る</li> </ul>	
【付帯テーマ「生涯学習」について】 ・ 他施設との重複に気をつけること ・ (学生の)実践の場として活用を図ること ・ 学び・交流の場を創出すること 高齢者から子への世代間継承		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風(イカ)づくりなど、昔の遊びの伝承や江戸時代遊具を学び、作成し、遊んでもらう等の伝承、実践が出来る機能を有する</li> <li>・ 小正月の飾り、魔除けの薬細工等、行事、風習の伝承と展示の機能を有する</li> <li>・ 商高と農高で直売所経営をする等、交流や学校教育の実践の場としての機能を有する</li> <li>・ 料亭や和菓子文化を味覚として体験できる飲食店や茶店の伝承機能を有する(日替わり等、シェフ、料理人、和菓子職人に来ていただく、又は日替わり弁当や御菓子等)</li> </ul>	
【付帯テーマ「販わり創出」について】 ・ 近隣住民へ配慮(交通アクセス等の便宜)すること ・ イベントに限らず、ただ公園として自由に見ることも良い ・ 歴史・文化を損なわないこと(歴史・文化を利用した観光) ・ 歴史・文化と無関係(何でも良い)なイベントは排除すること		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渋滞をつくらないための解りやすい案内板やガイドの作成、交通網、交通機関の整備、駐車場確保(高齢者、施設車両優先エリア等も含む)</li> <li>・ 黙っていても見に行きたくなる景観の緑化を図り、天候にも配慮し人が自然に集まる景観に配慮した休憩場所、飲食、物産(高齢者や幼児も想定)もあり、新発田の情報が集まり人が集まる緑化機能(日本一の菖蒲城、雪吊りと白鳥の新発田城等)と、イベントや宣伝・防犯やゴミの捨てにくい見渡しのよい環境や防火対策</li> </ul>	

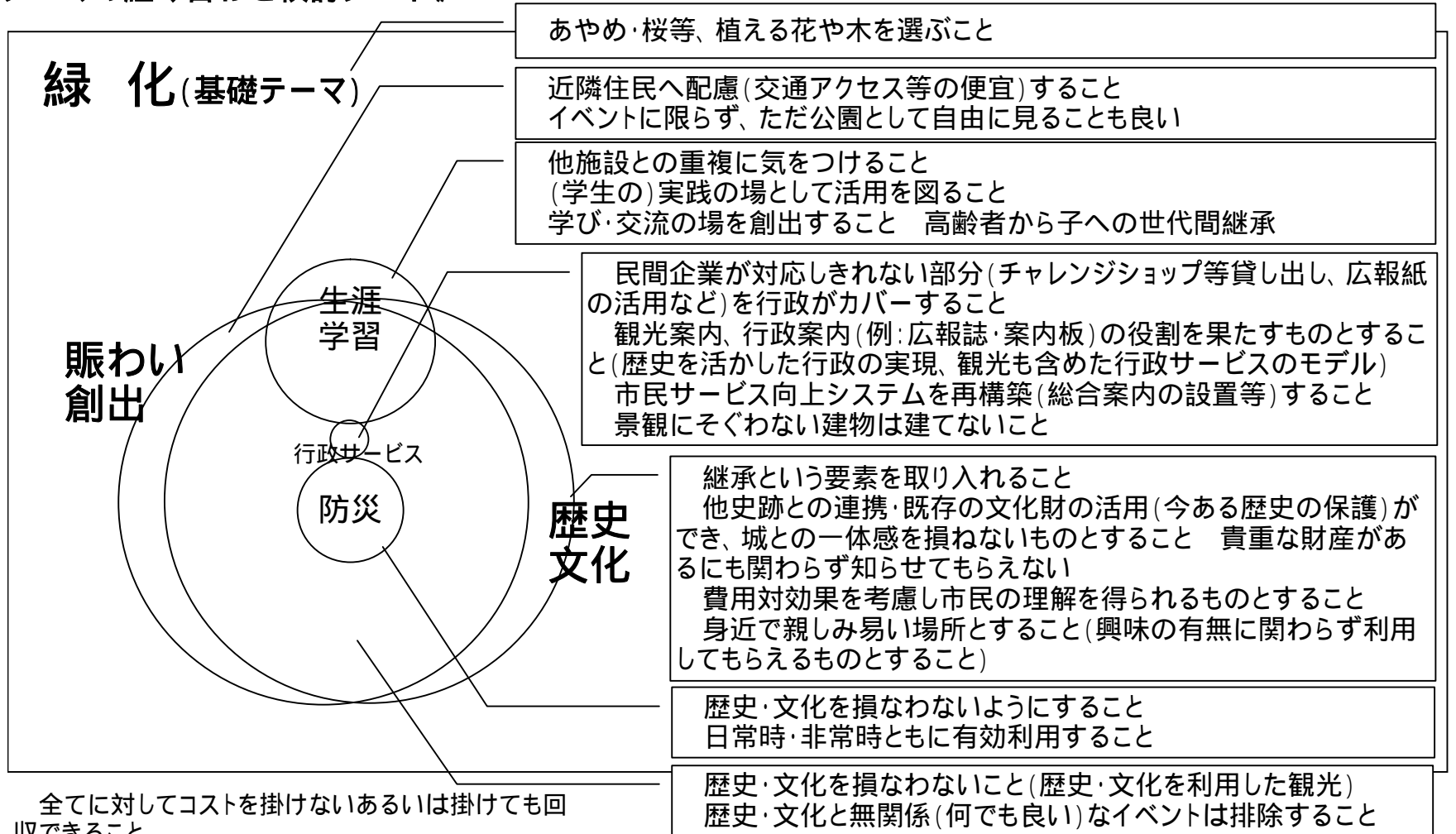


組み合わせ案 5

【テーマ】菖蒲城と呼ぶにふさわしい城前庭園と歴史・文化・四季・風情を感じ、心潤い安らぎ、自然に足を運びたい緑化

- ・ 菖蒲城と呼ばれる歴史を裏切らないよう菖蒲を中心とした四季の花木を植栽し、新発田らしい緑化を推進
- ・ 日常的に活用する歴史景観建造物、樹木、堀、伝統野菜畑、休憩所・トイレなどを災害時に活用可能とする
- ・ 観光案内、行政案内の設置
- ・ 江戸時代の藩政のみならず、明治・大正・昭和の歴史の伝承もふまえ、三階櫓の公開も含めた、城郭全体としての取り組みを図る
- ・ 当該地に対するスムーズなアクセスを可能とする分かりやすい案内板や交通網の整備

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

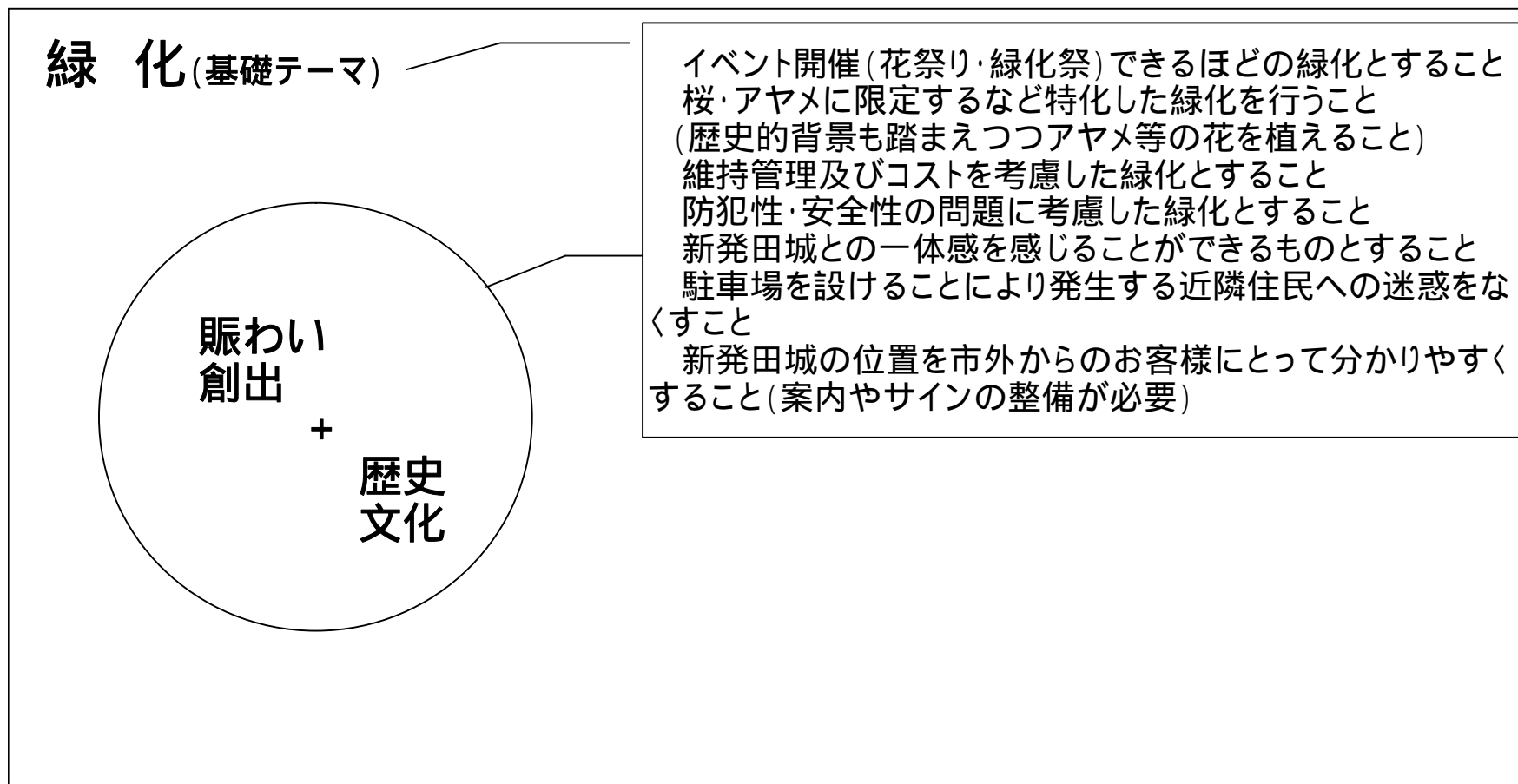
基本テーマの組み合わせ案 5		テーマ: 菖蒲城と呼ぶにふさわしい城前庭園と歴史・文化・四季・風情を感じ、心潤い安らぎ、自然に足を運びたい緑化
活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎テーマ 緑化 (必須)</li> <li>付帯テーマ 防災 (選択)</li> <li>付帯テーマ 行政サービス (選択)</li> <li>付帯テーマ 歴史・文化 (選択)</li> <li>付帯テーマ 生涯学習 (選択)</li> <li>付帯テーマ 販わい創出 (選択)</li> </ul>	
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		条件(目的) 機能 施設
<b>【基礎テーマ「緑化」について】</b> ・アヤメ・桜等植える花や木を選ぶこと ・病院跡地にある歴史ある樹木を大切にすること ・新発田市、豊浦、紫雲寺、加治川地区の花木、友好都市の花木を植栽、交流発展の証とする ・新発田らしさを念頭に、四季や景観を含め、全てのテーマにおいてバランスの良い緑化とする ・新しい発想をとり入れた緑化を推進する(花壇、雪囲い等のコンクール開催等のスペース確保)		謂れやエピソードのある樹木(陸軍病院時代からある樹木(女帝の木など)を調査し、説明や案内を加えて生かし、菖蒲城と言われてきた歴史を裏切らない、お城(表門)とアヤメを中心とした、調和のとれた歴史を感じ、心安らぎ景観 地区(合併前の町、村)や友好都市の花木でつくる四季の彩り 春=桜、梅、芝桜、桜草、レンギョウ、レンゲツツジ 夏=アヤメ(花菖蒲)、紫陽花、ムクゲ 秋=コスモス、菊 冬=松(雪つり、雪囲い) ・植物に関心を持てるような発表の場所としてのエリアの確保(市民活用)
<b>【付帯テーマ「防災」について】</b> ・歴史・文化を損なわないようにすること ・日常時・非常時ともに有効利用すること		日常 防災 ・蔵(歴史景観建造物) = 食料備蓄 ・樹木(緑化) = 防火林、燃料 ・堀、釣堀、ハス = 貯水、洪水防止、食料(魚、レンコン等) ・伝統野菜畑(新発田野菜) = 食料 ・休憩所、トイレ、景観建造物 = 避難所機能も想定 ・天候に関係なく歩けるスペース = 避難所機能も想定
<b>【付帯テーマ「行政サービス」について】</b> ・民間企業が対応しきれない部分(チャレンジショップ等貸し出し、広報紙の活用など)を行政がカバーすること ・観光案内、行政案内(例:広報誌・案内板)の役割を果たすものとする ・(歴史を活かした行政の実現、観光も含めた行政サービスのモデル) ・市民サービス向上システムを再構築(総合案内の設置等)すること ・景観にそぐわない建物は建てないこと		・飲食店等を出店したい人が、チャレンジショップを通じ、期間限定で出店を試み生の意見を聞けたり、その後の方向性への支援を商店街活性化を含めた機能を有する行政 ・当該地近隣の企業(JA・営林署等)などへの協働PR館や地元企業のノウハウを生かした協力を含め、町作りのための連携を図る機能を有する行政 ・歴史・人物・建造物・樹木・工芸品等の謂れやエピソードを発掘収集生かす行政 ・案内標識、ガイドマップ、交通網、宣伝、歴史的関連のある他市町村との連携を生かす行政 ・将来への機能分化(ネット利用)や他の施設のありかたも含めた、当該地の窓口システムの構築
<b>【付帯テーマ「歴史・文化」について】</b> ・継承という要素を取り入れること ・他史跡との連携・既存の文化財の活用(今ある歴史の保護)ができ、城との一体感を損ねないものとする ・費用対効果を考慮し市民の理解を得られるものとする ・身近で親しみやすい場所とすること(興味の有無に関わらず利用してもらえるものとする)		・新発田城(文化財の表門)が中核として生きる景観を前提とした設計 ・城址公園と別々にせず、一体化するには、表門前から城址公園に繋がる道路をルート変更し連続性をもたせる機能が必要、寺町他歴史景観の連続性をもつ機能を構築する ・歴史的価値と将来性を考え、明治、大正、昭和の歴史(軍隊、戦争、自衛隊の歴史)に特化した資料館や自衛隊の広報を行い、将来的には、三階櫓を公開可能にする。当該地は、藩政(医学もふくめ)、人物、伝承文化等に特化した、他史跡とも連携を図る
<b>【付帯テーマ「生涯学習」について】</b> ・他施設との重複に気をつけること ・(学生の)実践の場として活用を図ること ・学び・交流の場を創出すること 高齢者から子への世代間継承		・風(イカ)つりなど、昔の遊びの伝承や江戸時代遊具を学び、作成し、遊んでもらう等の伝承、実践が出来る機能を有する ・小正月の飾り、魔除けの糺細工等、行事、風習の伝承と展示の機能を有する ・商高と農高で直売所経営をする等、交流や学校教育の実践の場としての機能を有する ・料亭や和菓子文化を味わって体験できる飲食店や茶店の伝承機能を有する (日替わり等、シェフ、料理人、和菓子職人来ていただく。又は日替わり弁当や御菓子等)
<b>【付帯テーマ「販わい創出」について】</b> ・近隣住民へ配慮(交通アクセス等の便宜)すること ・イベントに限らず、ただ公園として自由に見ることも良い ・歴史・文化を損なわないこと(歴史・文化を利用した観光) ・歴史・文化と無関係(何でも良い)なイベントは排除すること		・渋滞をつくらないための解りやすい案内板やガイドの作成、交通網、交通機関の整備、駐車場の確保(高齢者、施設車両優先エリア等も含む) ・黙っていても見に行きたくなる景観の緑化を図り、天候にも配慮し人が自然に集まる景観に配慮した休憩場所、飲食、物産(高齢者や幼児も想定)もあり、新発田の情報が集まり人が集まる緑化機能(日本一の菖蒲城、雪吊りと白鳥の新発田城等)と、イベントや宣伝防犯やゴミの捨てにくい見渡しのよい環境や防火対策

組み合わせ案 6

【テーマ】市民が誇れる公園の整備及び緑化

- ・ 新発田市の特徴・歴史をふまえた花木を中心とした緑化（専門家によるデザインを施す）
- ・ 道路案内やサイン等看板を整備

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

基本テーマの組み合わせ案6		テーマ: 観光名所になるほどの公園の整備及び緑化
活用する	基礎テーマ 緑化 (必須)	あやめや桜の公園
	付帯テーマ 防災 (選択)	
	付帯テーマ 行政サービス (選択)	
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)	新発田の歴史・文化を踏まえたもの、景観にマッチしたものが良い
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)	
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)	緑化によって、賑わいを創出する(観光振興)
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		条件(目的) 機能 施設
[基礎テーマ「緑化」について]		左記条件を満たすために必要な機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント開催(花祭り・緑化祭)できるほどの緑化とすること</li> <li>・ 桜・アヤメに限定するなど特化した緑化を行うこと(歴史的背景も踏まえつつアヤメ等の花を植えること)</li> <li>・ 防犯性・安全性の問題に考慮した緑化とすること</li> <li>・ 維持管理及びコストに考慮した緑化とすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザインされた緑化(専門家にデザインを依頼するのも良い)</li> <li>・ デザインを考慮に入れ、周囲とのバランスの取れた防犯</li> <li>・ 市民団体や一般市民の協力を得た維持管理</li> </ul>	
		日本庭園のようなアヤメ園 (アヤメ以外のスペースも確保) 見通しの良い緑化 適切な配置による夜間照明
[付帯テーマ「防災」について]		
[付帯テーマ「行政サービス」について]		
[付帯テーマ「歴史・文化」について]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新発田城との一体感を感じることが出来るものとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新発田城に隣接する道路・歩道も含め、出来る限り、新発田城とマッチした景観形成</li> </ul>	新発田城に映えるアヤメ園
[付帯テーマ「生涯学習」について]		
[付帯テーマ「賑わい創出」について]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場を設けることにより発生する近隣住民への迷惑をなくすること</li> <li>・ 新発田城の位置を市外からのお客様にとって分かりやすくすること(案内やサインの整備が必要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場を設ける位置について配慮が必要</li> <li>・ 道路案内やサイン等看板の整備</li> </ul>	利用者の駐車場 道路案内標識



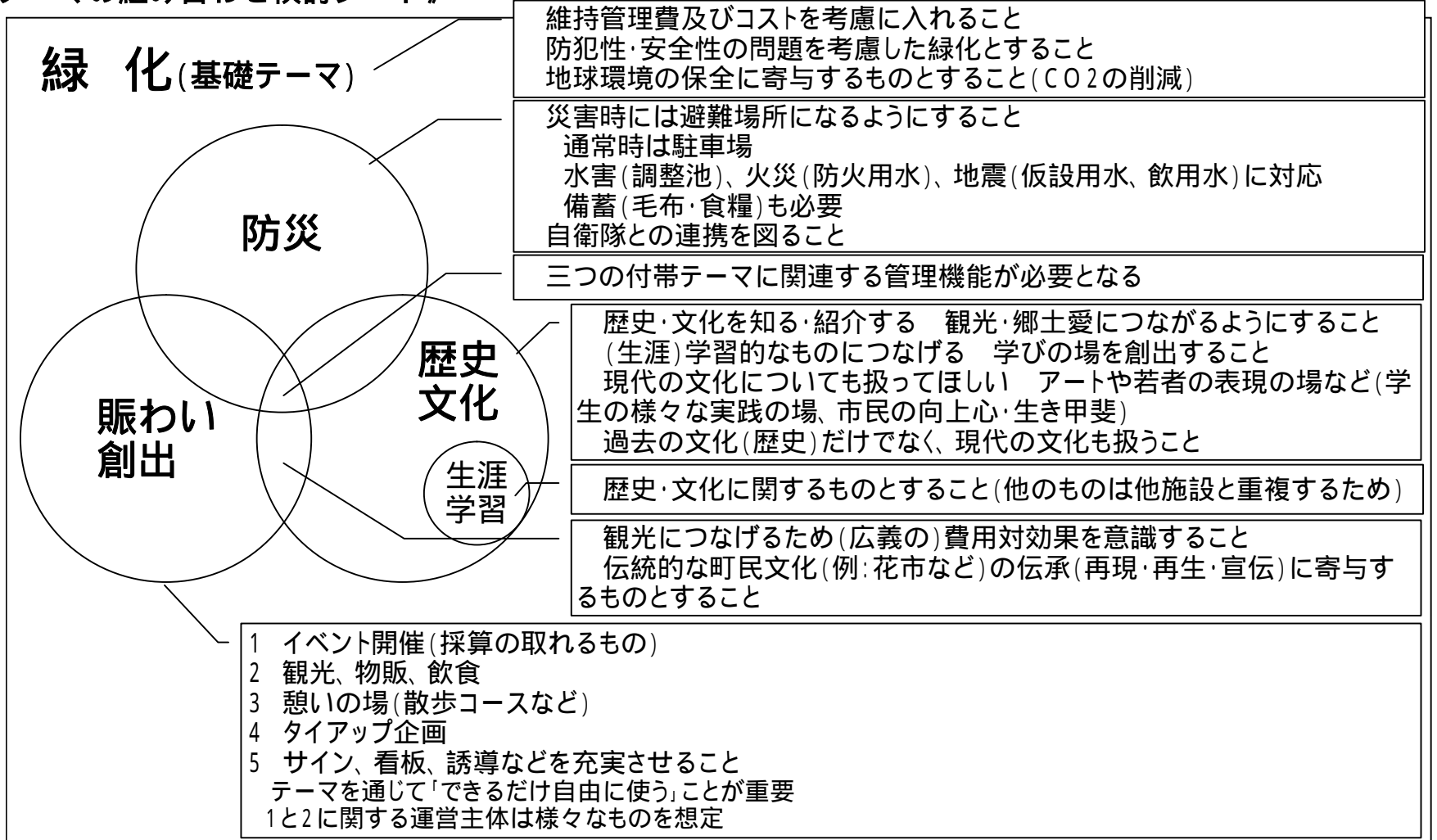
組み合わせ案 7

【テーマ】緑と歴史・文化を背景とした誰もが利用できる美しい複合施設

お金のとれる緑地 100年記念新発田城公園

- ・ 防犯性、安全性の高い見通しの良い植林
- ・ 災害時には避難場所となるとともに、水害に対する調整池、火災に対する防火用水、地震に対する仮設用水・飲用水の機能を持った水施設の整備
- ・ 歴史的なもののみならず、現代の文化・美術も展示できる歴史博物館、美術館、イベントの開催可能なフリースペース、会場特産品販売、レストラン、ゆったりとしたロビーなどを備えた複合施設の整備

《基本テーマの組み合わせ検討シート》



《整備イメージ検討シート》

基本テーマの組み合わせ案 7		テーマ: 緑と歴史・文化を背景とした誰もが利用できる美しい複合施設 / お金のとれる緑地 100年記念新発田城公園
<p>活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎テーマ 緑化 (必須)</li> <li>付帯テーマ 防災 (選択)</li> <li>付帯テーマ 行政サービス (選択)</li> <li>付帯テーマ 歴史・文化 (選択)</li> <li>付帯テーマ 生涯学習 (選択)</li> <li>付帯テーマ 賑わい創出 (選択)</li> </ul>		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記	条件(目的)	機能 施設
<p>【基礎テーマ「緑化」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理費、コストを考慮に入れること</li> <li>地球環境の保全に寄与するものとする(CO2の削減)</li> <li>防犯性・安全性の問題を考慮した緑化とすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理の手間や費用がかかりにくい植栽</li> <li>防犯性、安全性にも考慮し、見通しの良い植林(多く植林しないことによるコスト削減にもなる)</li> <li>夜間の安全や防犯のため、そして憩いの場や観光目的でも照明(ライトアップ)が必要</li> <li>照明の効果的なプランニングや光源の選択によりコストダウンを図る</li> <li>ランニングコストを抑え、環境にも配慮する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憩いの庭というイメージの緑地・見通しが良く、遊歩道、ベンチ、オブジェ等がある</li> <li>寄付や提供による記念樹等の植樹</li> <li>花壇(コンクール等できるもの)</li> <li>敷地内表門向かって右側全体を緑地帯</li> </ul>
<p>【付帯テーマ「防災」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時には避難場所となるようにすること</li> <li>備蓄(毛布、食糧)も必要</li> <li>水害(調整池)、火災(防火用水)、地震(仮設用水、飲用水)に対応</li> <li>通常は駐車場</li> <li>自衛隊との連携を図ること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所は屋外、屋内を想定</li> <li>備蓄品は施設の中に</li> <li>防火用水・調整池としての機能を持った「水」の設備(景観を損なわず、いざという時転用できるもの)</li> <li>通常は緑化&amp;駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水を上手く利用できる設備・施設</li> <li>例:東京国立博物館 法隆寺宝物館 駐車場</li> <li>堀(池)</li> </ul>
<p>【付帯テーマ「行政サービス」について】</p>	<p>三つの付帯テーマに関連する管理機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合施設</li> <li>歴史博物館+美術館+市民スペース(企画やレンタルもできる)+ミュージアムショップ、地場物産、おみやげ+飲食(カフェレストラン)+誰もが利用できるゆったりしたロビー等を備えた施設</li> </ul>
<p>【付帯テーマ「歴史・文化」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史・文化を知る、紹介する 郷土愛、観光につながるようにすること</li> <li>(生涯)学習的なものにつなげる 学びの場を創出すること</li> <li>現代の文化についても扱ってほしい アートや若者の表現の場など(学生の様々な実践の場、市民の向上心・生き甲斐)</li> <li>伝統的な町民文化(例:花市など)の伝承(再現・再生・宣伝)に寄与するものとする</li> <li>郷土のアーティストにスポットをあてること</li> <li>過去の文化(歴史)だけでなく、現代の文化も扱うこと</li> <li>観光につなげるため(広義の)費用対効果を意識すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の下越全体の歴史展示+現在のアートや美術品展示+企画を行えるスペース</li> <li>常設+企画 企画スペースはレンタルもでき、市民や市民以外でも利用できる</li> <li>常設、企画とも充実させ、リピーターもねらう</li> <li>PRを的確に行う</li> <li>開かれた施設</li> <li>コストを考慮した上で例えば開館時間は7-8時くらいまでと、季節に応じて定める、仕事帰りでも利用できるものとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただし、緑化とも一体化した美しい景観を損ねない建物とする</li> <li>運営には市民やボランティアも多く関わる</li> <li>建設費が懸念されるが、市民としての誇りが持て、次世代にも残せる、しっかりしたものを作る</li> <li>一度に完成しない可能性も</li> <li>一期工事、二期工事...と</li> </ul>
<p>【付帯テーマ「生涯学習」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史・文化に関するものとする(他のものは他施設と重複するため)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客、市民、学生に対して下越・新発田の長い歴史文化、生活様式などを学習してもらう施設</li> <li>ミニセミナーやミニ講演会などが可能な多用途なスペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントスペース</li> <li>町民文化の伝承(再現・再生・宣伝)を行うことができるもの</li> <li>例:花市の開催</li> </ul>
<p>【付帯テーマ「賑わい創出」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント開催(採算のとれるもの)やタイアップ企画</li> <li>観光、物販、飲食</li> <li>憩いの場(散歩コースなど)</li> <li>サイン、看板、誘導などを充実させること</li> <li>できるだけ自由に使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内、外で行える</li> <li>主体が様々でも積極的にイベント等開催できるしくみづくり</li> <li>リピーターをねらえるような好感度の賑わい演出(対応の良さ、サービスなどのソフト面の充実)</li> <li>駐車場の充実、バリアフリー(車椅子やベビーカーでも問題なく来れて利用できる)、トイレがきれいといった、設備面(ハード面)の充実</li> </ul>	

### 3 市民検討委員会委員名簿

委員区分	氏名
1号委員	馬場 健
2号委員	笠原 良弘
	木村 秋夫
	佐藤 俊洋
	諸橋 晃
	山崎 英輝
3号委員	飯沼 龍平
	内田 繁
	神田 敬一
	高坂 玲子
	高橋 京子
	中村 夕美子
	林 尚子
	増子 國男
	若林 利次

県立新発田病院跡地活用市民検討委員会設置要綱第3条第2項

第1号委員：学識経験を有する者

第2号委員：市の公募に応じた市民

第3号委員：その他市長が適当と認めた者

委員区分ごとの50音順

#### 4 市民検討委員会開催状況及び検討手順

開催回数	日時	会場	検討内容
事前	H20.5.9(金)	-	・委員決定通知、庁内検討会報告書 送付
第1回	H20.5.22(木) 午後7時～	市庁舎 3階 応接室	・委員自己紹介及び意見 ・検討スケジュール、今までの検討経緯説明 他 ・意見公募手続による市民意見一覧配布 第2回検討委員会に向けた課題（6つの基本テーマの課題の抽出・整理）依頼
第2回	H20.5.29(木) 午後7時～	市庁舎 3階 応接室	・6つの基本テーマの課題の抽出・整理（グループ討議 グループでのまとめ）
第3回	H20.6.5(木) 午後7時～	市庁舎 3階 応接室	・6つの基本テーマの課題の抽出・整理（まとめ）
第4回	H20.6.12(木) 午後7時～	学習センター多目的ホール	・6つの基本テーマの課題の抽出・整理（総まとめ） 第5回検討委員会に向けた課題（基本テーマの組み合わせ検討）依頼
第5回	H20.6.26(木) 午後7時～	市庁舎 3階 応接室	・基本テーマの組み合わせ検討（グループ討議 グループでのまとめ）
第6回	H20.7.3(木) 午後7時～	学習センター多目的ホール	・基本テーマの組み合わせ（グループまとめ・優先順位付け） ・基本テーマの組み合わせ報告（全体会） ・整備イメージ作成についての説明
第7回	H20.7.10(木) 午後7時～	市庁舎 第2・第3 委員会室	・整備イメージの検討・優先順位の再確認（グループ討議） ・整備イメージの検討（全体）
第8回	H20.8.7(木) 午後7時～	市庁舎 第2・第3 委員会室	・中間報告書の確認